

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

製品名	液体ラバーコートスプレー	(LC-290SP-RD, LC-290SP-BK LC-290SP-WT, LC-290SP-CL)
供給者名	ジェフコム株式会社	
住所	〒579-8014 東大阪市中石切町3-13-16	
担当部署	品質管理課	
電話番号	072-988-3813	
FAX番号	072-988-3800	
推奨用途及び使用上の制限	工業用品 トルエンに溶解されるものとPEは除く	
作成日	2018年1月20日	
改定日		

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

可燃性ガス	区分1
高圧ガス	液化ガス
引火性液体	区分2

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性	区分2
眼損傷性/眼刺激性	区分2A
発がん性	区分2
生殖毒性	区分1B
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分3
吸引性呼吸器有害性	区分1

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険有害性情報

危険
極めて可燃性/引火性の高いガス
引火性の高い液体および蒸気
高圧ガス; 熱すると爆発のおそれ
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
皮膚刺激
強い眼刺激
呼吸器への刺激のおそれ
眠気又はめまいのおそれ
発がんのおそれの疑い
生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い

注意書き

予防策

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙。
容器を密閉しておくこと。
容器を接地すること/アースをとること。
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
取扱い後は、手を良く洗うこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

飲み込んだり吸い込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。
 皮膚に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。
 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。
 皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当を受けること。
 気分が悪い時は医師に連絡すること。
 特別な処置が必要である。
 無理に吐かせないこと。
 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当を受けること。
 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当を受けること。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
 火災の場合：消火に炭酸ガス、又は水を使用すること。
 漏洩ガス火災の場合：漏えいが安全に停止されない限り消火しないこと。
 安全に対処できるならば着火源を除去すること。
 漏出物を回収すること。

保管

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
 容器を密閉しておくこと。

廃棄

施錠して保管すること。
 内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3.組成、成分情報

単一製品混合物の区別

混合物

化学名	含有量 (%)	官報公示整理番号	CAS.No.
キシレン	40 ～ 50	3-3	1330-20-7
ルチル	1 ～ 10	1-558	1317-80-2
スチレンブタジエンゴム	20 ～ 30	6-134	9003-55-8
ジメチルエーテル	20 ～ 35	-	115-10-6

4.応急処置

目に入った場合

水で数分間洗眼し、コンタクトレンズを取り外す。その後も洗い続けること。
 医師の診断を受ける

皮膚に付着した場合

皮膚を水/シャワーで洗い流すか、多量の水と石けんで洗う。

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移して安静にさせ、不快感や呼吸困難などの障害が起こった場合は、速やかに医師の診断を受ける

飲み込んだ場合

無理に吐き出させない。異常があれば医師の診断を受ける

5.火災時の措置

消火方法

炭酸ガス、泡、霧状水（棒状水は不可）で消火する。
 適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。
 可燃性のものを周囲から素早く取り除く。
 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
 消火活動は風上から行う。

消火剤

炭酸ガス、泡、乾燥砂類、霧状水

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置

作業の際には手袋、防護マスク、ゴーグル等を着用し、ガス等を吸入しないよう注意すること。

吸入しないこと（粉塵、煙霧、ガス、蒸気、ミスト、スプレー）

周囲を立ち入り禁止にして、関係者以外近づけないように二次災害を防止する。

屋内であれば換気を良くする。

付近の着火源、高温体および付近の可燃物を素早く取り除く。

適切な保護服を着用せずに破損した容器や漏水に触れないでください

環境に対する注意事項

河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意すること。

液体の吸収に続き、汚染された部分を洗剤と水で洗い流してください。

封じ込め及び浄化の方法・機材

漏出した液体は盛土で囲って流出を防止する。

漏出物を取り扱うときに用いる全ての設備は接地する。

乾燥した砂または土で廃棄物容器に回収する。

全ての発火源を速やかに取り除く

7.取扱い及び保管上の注意	
取扱い	換気の良い場所で行う。 工具は火花防止型の物を使用する。 周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。 静電気対策のため、装置は接地し、電気機器類は防爆型を使用すること。 使用中または使用後、飲食及び喫煙をしないこと。 キャップを慎重に開けてください 長期または継続的な皮膚接触を中止してください。 取扱後は手、顔などよく洗い、休憩所などに汚染保護具を持ち込まない。
保管	熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙。 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。 施錠して保管すること。 食べ物や飲み物と共に保管することは避けてください。

8.ばく露防止及び保護措置	
管理濃度	設定されてない
許容濃度	
日本産業衛生学会	キシレン： 50ppm
ACGIH	キシレン： 100ppm(TWA) キシレン： 150ppm(STEL)
設備対策	プロセスの隔離、換気装置
保護具	呼吸用保護具
保護眼鏡	ゴーグル
保護手袋	ゴム手袋
保護衣	静電気防止機能付き

9.物理的及び化学的性質	
物理的状態	液体 (20℃)
色	薄緑色
臭い	甘い刺激臭
pH	データなし
融点、凝固点	データなし
沸点	138℃
引火点	18℃
爆発範囲	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度(空気=1)	データなし
比重	0.89～0.9
粘度	13～20 秒(F#4)
溶解度	データなし
N-オクタノール/水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
水に対する溶解性	無視できる

10.安定性及び反応性	
安定性	データなし
反応性	容器は加熱すると爆発することがある。 高温で分解すると有毒ガスが発生することがある
避けるべき条件	高温への暴露 炎・発火源
混触危険物質	燃焼等により有毒性ガスを発生する恐れがある。

11.有害性情報				
急性毒性				
	経口	経皮	蒸気	IARC
キシレン	LD50 3500 mg/kg ラット	LD50 ≥ 4350 mg/kg ラビット	蒸気LC50 5922 ppm (4h) ラット(25.713 mg/L EPA OPP 81-3, GLP)	Group 3
ルチル	LD50 > 24000 mg/kg ラット	-	-	Group 2B (二酸化チタン)
スチレンブタジエンゴム	-	-	-	Group 3
ジメチルエーテル	-	-	LC50 ガス LC309.5 mg/L (4h)ラット	Group 3

皮膚腐食性・刺激性	
キシレン	腐食性物質と接触すると皮膚に重度のやけどを引き起こす
ジメチルエーテル	蒸気と液体が皮膚刺激を引き起こす
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	
キシレン	液体またはスプレーミストは特に目、口および気道の粘膜に組織損傷を引き起こす可能性がある
スチレンブタジエンゴム	ドレイズ試験： Mild, 500 mg/24h
ジメチルエーテル	蒸気と液体が眼を刺激する

生殖毒性	
キシレン	ラットの発達毒性試験における胎児の体重は減少し、水頭症が現れた。
ジメチルエーテル	実験動物の胎児と胚に影響を与えることが報告されている
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	
キシレン	ラットにおける刺激、重度の肺鬱血、肺胞出血および浮腫、肝鬱血および肝細胞中心部の肝細胞性恐怖症の拡大を伴い、出血および損傷に傷害を与える管理者、ならびに神経細胞、血液尿素、肝臓障害および重症腎障害、記憶喪失、昏睡などが現れる。それは実験動物で麻酔作用を引き起こす。
ジメチルエーテル	中枢神経系への影響、意識低下
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	
キシレン	長期または反復暴露による呼吸器系および中枢神経系の障害を引き起こす
ルチル	暴露により悪化する:呼吸器系疾患
ジメチルエーテル	ラットで13週間吸入暴露、健康および食物摂取障害

12.環境影響情報

水生環境毒性

	魚	甲殻類	藻類
キシレン	LC50 3.3 mg/l 96 hr	LC50 190 mg/l 96 hr	-
ルチル	LC50 35.988 mg/l 96 hr	LC50 39.180 mg/l 48 hr	EC50 24.821 mg/l 96 hr

残留性

キシレン	(3.12(ORTHO),3.2(META),3.15(PARA)(5))
ルチル	適用外
スチレンブタジエンゴム	データなし
ジメチルエーテル	log Kow 0.1

分解性

データなし

生物濃縮

ルチル	BCF 10.38
-----	-----------

生分解性

キシレン	39 (%)
ジメチルエーテル	5 (%) 28 day

土壌中の移動性

キシレン	log Kow = 3.12(ORTHO),3.2(META),3.15(PARA)(5)
------	---

13.廃棄上の注意

残余廃棄物	少量の場合:火気のない屋外でボタンを押し、噴射音が消えるまでガスを抜いてから捨てること
容器及び包装	大量の場合:許可を受けた廃棄物処理業者と契約を結び、廃棄処理を行う 地方自治体の定めるルールに従い、分別して廃棄を行う

14.輸送上の注意

国連番号	1950
クラス	2.1
国際規制	海上規制情報:IMO規定に従う 航空規制情報:ICAO/IATAの規定に従う
国内規制	陸上規制情報:消防法、高圧ガス保安法に従う 海上規制情報:船舶安全法に従う 航空規制情報:航空法に従う
緊急時応急措置指針番号	126

15.適用法令

高圧ガス保安法	エアゾール
消防法	指定可燃物(可燃性液体類):第四類 引火性液体 第一石油類 非水溶性 危険等級Ⅱ
労働安全衛生法	表示・通知義務対象物質(キシレン)
PRTR法	キシレン
船舶安全法	高圧ガス・引火性高圧ガス
航空法	高圧ガス・引火性高圧ガス

16.その他の情報

引用文献	厚生労働省 職場のあんぜんサイト GHS対応モデルMSDS その他各原料MSDS
------	---

本データシートは当該製品の一般的な取扱いに際しての安全な取扱い方法について最新の情報を集めたものですが万全ではありません。新たな情報を入手した場合は追加又は訂正することがあります。当該製品を他の製品と混合したり、特殊な条件で使用したりするときは安全性の評価を行ってください。本データシートは保証値ではありません。